

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	稲城市発達支援センター分室 レスポーいなぎ丸		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりのお子さんに合った支援が提供できるように職員間で共有する時間を大切にしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ療育後は必ず支援の振り返りを行い、次の支援につなげられるよう職員同士で意見交換をしている。 ・朝礼や夕礼などでも活動プログラムの内容やねらいを確認している。 ・支援会議・音楽会議ではクラスのねらいや支援方法、関わり方などを共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は個別療育担当会議を定期的に設けることで、ミニカンファレンスや支援内容の情報共有を図っていきます。
2	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修する機会が充実している。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、虐待防止研修や不審者対応など事業所内研修を実施している。 ・法人内のイーランニングを使用して各自で学習をすすめている。 ・法人内でも全体法人会議や児童分野研修を年に2回ずつ実施している。 ・法人内実務者研修も積極的に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修を受ける機会があるものの、OJT体制やシステムはまだ整っていないため、OJTの流れや記録用紙の作成などを進めていきます。
3	スーパーバイザーやオンブズマンに来所していただき、様々な意見を取り入れることで質の向上が図れるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーバイザーは年6回以上来所していただき、グループ療育や個別療育の支援についてアドバイスをもらい、支援に活かしている。 ・オンブズマンは権利擁護の視点から年3回グループ療育を見学していただき、振り返りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者の意見だけではなく、事業所内のST・OT・心理職員がグループ療育に入り、利用する子どもの生活動作・コミュニケーション・摂食などの専門的な意見を出し合う機会を設けることで支援の質の向上をより図れるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営は十分ではない。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度4月に開所したばかりで地域の方が参加できるイベントを企画する時間を捻出できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と交流を図れるようなイベントを開催し、地域に開かれた事業運営を目指します。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が十分に図れていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や幼稚園と事業所を併用利用している子どもと事業所のみ利用している子どもがクラスに混在しており、保育園や認定こども園、幼稚園等の交流をする必要性をあまり感じていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放や近隣保育園と交流を図れるような行事を開催し、ともに活動する機会が作れるように進めていきます。
3	策定している各種マニュアル(事故防止マニュアル・緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等)を非常勤職員や保護者に十分に周知・説明できていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルの整備は出来てきたが、安全計画以外は保護者への周知ができていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・策定した各種マニュアルは随時連絡ツールアプリで公表し、周知・説明していきます。